山形市市民活動支援センター連絡協議会　臨時理事会議事録			
日時	平成 24 年 7 月 31 日（火） 午後 6 時 20 分～午後 8 時 20 分	場所	山形市市民活動支援センター　会議室 A
出席者	池田、手塚、吉田、堀越、大場、齋藤和人（アミル代表；センター所長）、佐藤悠		
記録	事務局：佐藤		

次第内容

１、連絡協議会の目的の再確認と進め方について
２、事務局業務の分担と集約について
３、その他

決定事項

１、連絡協議会の目的の再確認と進め方について

・各出席者が、今までの活動を振り返って、意見を述べた。

・連絡協議会は、各団体の交流・センターの施設利用の利便性の向上・市民活動の発展のために行政に要望や提言をおこなうこと、を目的として平成19年に設立された。それぞれの団体が自分たちの本来の活動を行いながら、連絡協議会の活動も行っており、実際は自分たちの活動でめいっぱいである。連絡協議会の活動は、本来の活動とバランスをとりながら、できる範囲で行っていくしかないと思う。

・市民活動まつりは、連絡協議会による民間主導でよくやれていると思う。市や市民活動支援センターが主導で行ったら、４回も続かなかっただろう。５回目の今年度も継続して開催することとする。

・円卓会議は、今まで５回開催したが、まだ十分な意見交換ができているとはいえず、目標とした「まちの課題」の解決には達していない。今後はワークショップを行うなど、内容や開催様式を工夫する必要がある。

・理事団体間では情報交換がうまく行われているが、理事団体以外では十分に交流・情報交換ができていない。今までも、理事会にはオブザーバーとして理事以外の団体の出席を受け入れてきたが、今後は、理事会の年間開催日程を公表し、連絡協議会に参加している団体が出席しやすいようにしていく。

・連絡協議会からの情報発信が今まで不十分だったと思う。ホームページに議事録を載せるなど、積極的に情報発信していく必要がある。今まで休眠状態だった連絡協議会のブログの活性化もおこなう。

２、事務局業務の分担と集約について

・現在は、事務局はアミルが行っている。センターに常駐しているため、会員団体との連絡がとりやすい反面、連絡協議会の活動内容が事務局に集中しやすくなる。また、センター登録団体からすれば、連絡協議会の活動と、センター業務との区別がわかりにくい。

・連絡協議会の予算規模からしても、利便性からしても、事務局はアミルで行っていただくのが最善であろう。ただ、今までは、とくに行事などで事務局の負担が大きすぎたので、今後は、もっと理事が役割分担をしていく。

３、今後にむけて

・協議会のあり方は、今後も継続して考えていく。総会や各行事へより多くの団体が参加することを目指す。

その他

・8 月 26 日（日）の懇談会のテーマは、「協議会は、山形市や山形市市民活動支援センターからどのように見られているのか、意見を伺う」という内容とする。

・次回の理事会にて、今年度の全ての年間スケジュールを決定し、会員に理事会に来てもらえるよう、ホームページ等で情報発信を行う。

次回開催日	理事会　平成 24 年 8 月 26 日（日）午後 2 時より　会議室 B にて